

2018-19 年度

WEEKLY REPORT



インスピレーションになろう

2018-19 年度 R.I. 会長

バリー・ラシン

Rotary
Club of Nagoya Meieki

クラブ会長方針「若返ろう！ ロータリー活動を通じて」

スローガン「自分たちの足元を照らそう」

名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991 年 4 月 17 日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル

会 長：米坂みよ古
副 会 長：山本裕三
幹 事：加藤祐一
クラブ会報：小俣憲司

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1288回例会

第2760地区西名古屋分区IM (INTERCITY MEETING)

—— 未来を感じる ——

2019年2月18日(月)
(平成31年)晴 No.25

□ 出席報告(ビクター受付28名) 会員総数89名(免除者16名)
義務者出席49名 免除者出席4名 総数53名
出席率68.83%

2月13日(水)から例会変更し、2月18日(月)に西名古屋分区IM (インターシティミーティング)に参加しました。

ホストクラブ：名古屋中RC

会 場：名古屋観光ホテル「曙の間」「那古の間」

時 間：16:00～20:00

第一部 式典並びに講演会

◇点鐘 渡邊一平ガバナー補佐

◇「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◇主催者あいさつ 渡邊一平ガバナー補佐



皆さん、ようこそおいで頂きました。村井ガバナー、そして西名古屋分区のバスターガバナーの方も沢山ご出席頂き、ありがとうございます。

今回のIMは、すべてのロータリアンが共通して興味を持てるテーマがいいだろうということで、「未来」をテーマとしました。

ロータリークラブも大きく変わろうとしています。

そこで、村井ガバナーにはこれからのロータリー像をお話し頂きたいとお願いしました。村井ガバナーは職業奉仕の大ベテランです。今の国際ロータリーでは、職業奉仕という言葉が死語になりかけていますが、その中で私たちはどうすればいいか、村井ガバナーのお話はきっとその大きなヒントを与えてくれるのではないかと期待しています。

特別講演は、たまたま見たNHK「最後の講義」に出ておられた、ロボットの第一人者・石黒 浩先生にお願いしました。家庭にロボットが入ってくる時代も迫っていると思います。これからの人間とロボットの関わりについて、石黒先生の講演が大いにヒントになるのではないかと思います。

第2部は親睦です。愛知大学ブルースターズジャズオーケストラのビッグバンドと名古屋観光ホテルの美味しい料理を肴に、皆さん親睦を深めて下さい。昔の友と再会し、新しい友を作して下さい。

締めは13クラブの会長(または副会長)に登壇して頂いて、1分間のスピーチをして頂きます。会長はクラブの顔です。そのお話を通じて、13クラブを知って頂きたいと思います。

是非、最後までIMをお楽しみ下さい。

◇特別出席者紹介

特別出席者の村井総一郎ガバナー、長瀬輝代之東名古屋分区ガバナー補佐、高須博久西名古屋分区担当地区副幹事が紹介されました。

◇参加13クラブ紹介

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間です

< 例会開催予定 >

◇第1289回2月20日(水) 例会変更
夜間例会(立食) (ビクター受付11:30～12:30)
受付 17:30 例会 18:00～
懇親会18:40～19:40

◇第1290回2月27日(水) 通常例会(カレー)
外部卓話 畠 賢一郎様「再生医療」
(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
代表取締役 社長執行役員

【例会後】第8回理事会

◇特別出席者代表あいさつ 村井總一郎ガバナー



◇特別講演



ロボット研究で有名な大阪大学名誉教授・石黒浩氏の特別講演。「人間型ロボットによって支援される未来の生活」という演題で、ロボット技術がもたらす未来像についてお話し頂きました。

◇謝辞 伊藤秀樹IM実行委員長

◇次期ガバナー補佐あいさつ

名古屋瑞穂RC 伊藤 豪次期ガバナー補佐

◇次期IMホストクラブ会長あいさつ

名古屋瑞穂RC 関谷俊征会長エレクト



第二部 懇親会

◇歓迎のことばと乾杯 杉本仁至IM名誉実行委員長

◇アトラクション

愛知大学軽音楽部・ブルースターズジャズオーケストラによる演奏を楽しみました。



◇13クラブ会長よりあいさつ



13クラブの会長（または副会長）から、各クラブの活動などを紹介するスピーチがありました。

〈名駅RC 米坂みよ古会長のスピーチ〉

名駅RCは今年度、村井ガバナーの地区方針を受け、「自分たちの足元を照らそう」をスローガンに、街の片隅にある光の当たらない場所に目を向けました。そして、夫や恋人から暴力を受け、DV（ドメスティックバイオレンス）で苦しんでいる女性を救う民間団体「かけこみ女性センターあいち」の活動を、地区補助金を活用して支援しました。

先月27日、DV防止を呼びかける1人芝居「電話の女」（かけこみ女性センターあいち主催）の鑑賞会を実施し、当クラブからは神野パストガバナーや大勢の方たちが参加しました。

また、名駅RCの助成金を活用して、DVシェルターの案内、相談のリーフレットやカードを作成し、女性たちの目に付く病院やお店などにも配布をお願いしました。これにより、DVで困っている人たちを救い、大きな事件になる前に未然に防ぐことが出来ればと思っております。皆さんもどうか女性、奥様や恋人には優しくして頂きたいと思います。



◇歓談

◇御礼のことば

名古屋中RC 佐藤貞明会長エレクト

◇「手に手つないで」斉唱

